

公益財団法人 核物質管理センター
第44回理事会議事録

1. 開催日時 令和6年6月4日(火)
14時00分～16時00分

2. 開催場所 東京都台東区東上野1-26-2
オーラム 「ギャラリーI」

3. 出席者(順不同)

理事 代表理事 理事長：下村和生
業務執行理事 小林功、阪口誠
非常勤理事 牛田克己、内山洋司、木下雅仁
(非常勤理事の秋山信将、海老原充は欠席)
【理事現在数8名、出席理事6名】

監事 外部監事 高本学
【監事現在数1名、出席監事1名】

事務局 総務課長 遠藤雅伸 他

4. 議長 理事長 下村和生

5. 議題

議案

第1号議案：令和5年度事業報告及び財務諸表等の承認

第2号議案：第33回評議員会の招集の決議

報告事項

1：理事の職務執行状況の報告

6. 議事の経過及び結果

議案の審議に先立ち事務局から、理事現在数8名に対し本理事会は6名の出席があり、定款第36条に規定する決議に必要な理事の出席要件を満たすことについて報告があった。また、監事1名の出席について併

せて報告された。

次に、定款第35条の規定に基づき、下村理事長が議長となり本理事会が進行された。

また、定款第38条第2項の規定に基づき、出席した理事長及び監事が本日の議事録署名人となることを確認し、議案の審議に入った。

審議経過は以下のとおり。

6.1 議案

第1号議案 令和5年度事業報告及び財務諸表等の承認

下村理事長及び事務局から資料1及び参考資料により、令和5年度事業報告書、財務諸表等（案）について説明が行われた。

また、高本監事から、事業報告は適正であること、また計算書類等については適正に示されている旨の監査報告があった。

審議の結果、出席理事全員一致をもって原案のとおり承認された。

主な質疑等は以下のとおり。

・NMCCにおけるSDGsの取組み、特に女性雇用に関して給与等は男女一律であり待遇に差はなく、また採用に関しても応募者が少ないところではあるが、実績として分析関係で高卒者の採用が出来ている旨説明があった。

・金利上昇に伴うNMCCへの影響について質問があり、国債運用している中で買い替えのタイミング次第ではNMCCへの利息還元が見込まれるとの回答があった。

・特定資産取崩収入について予算と決算では金額に大きな隔たりがある理由の確認があり、当初の予定よりも中途退職者が多かったこと、また退職者の内には職員であった阪口理事も含まれている旨の説明があった。

・年々採用状況が厳しくなっていく中でNMCCでは民間からの中途採用といった人材の流動性はどうか、また組織内での年代バランス及び役職定年を過ぎた職員についてどう捉えているのか質問があり、流動性については、資格等のスキルを取得している者を中途採用しているが、一方では数年で退職する職員もおり、働き方が変わってきた昨今では、ある程度の入退社は仕方ないと考えている。またNMCCでは40代、50代の職員が多く、逆に20代、30代の職員は著しく少ない。役職定年となった職員間でも働き方に対する意欲に差があることが分かっている。これら年代バランスの解消や役職定年後

の職員の活用などについては今後の課題であるとの回答があった。

・AIの活用状況について質問があり、情報管理部におけるAI活用は業務上難しく、導入により却って業務量が増加することが考えられる。しかし業務の一部においてAIを活用することは今後の想定としてあり、NMCCのこれまでの知見を活かせるようAIの導入は検討していく方向であるとの回答があった。

第2号議案 第33回評議員会の招集の決議

事務局から資料2により、第33回評議員会の招集について(案)の説明が行われた。

審議の結果、出席理事全員一致をもって原案のとおり招集が決議された。

6.2 報告事項

理事の職務執行状況の報告

資料3に基づき、定款第25条第6項に定める「代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告」である令和6年2月から令和6年5月までの職務執行状況について、理事長、小林理事及び阪口理事から同資料に沿って説明があった。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・NMCCにおけるクラウド化状況についての質問があり、現在の基盤情報システムについてはサーバリースの満了に伴い、今後はクラウド化していく方向である旨、小林理事から説明があった。
- ・分析業務の遅れについて質問があり、理事長及び阪口理事からQMSを用いて対応していると説明があった。

6.3 その他

・事務局より理事長候補者選考、役員及び評議員の選任について報告があり、6月3日に理事長候補者の面接審査を行ったこと、及び6月5日の評議員会では役員選任後、原子力規制委員会へ認可申請を予定していること、また6月26日開催の理事会では理事長等を決定する旨の説明があった。

7. 配付資料

資料1 令和5年度事業報告書及び財務諸表等(案)

資料2 第33回評議員会の招集について(案)

資料3 業務報告

以上、理事会の議事の経過及び結果を明確にするために、議事録を作成し、出席した理事長及び監事が次のとおり記名押印する。

令和6年6月4日

理 事 長 下 村 和 久

監 事 高 本 浩

(議事録作成者 : 公益財団法人 核物質管理センター
総務課長 遠藤 雅伸)